

夏秋トマト（ミニ）の中盤の管理について

1.8月の長雨対策について（収穫最盛期の草勢維持）

①光合成の活性化（環境制御はCO2と水と光）対策

これから予測されています長雨による影響を軽くするためのも生長点部分への葉面散布を行いましょう。

コラーゲン・ラボ500倍にクドグリーン500倍を混用して2～3日間隔での施肥



2.高温期での裂果対策について

①高温直射日光やN過多、茎葉の軟弱、水分過多など影響して多くなります。

この様な条件の改善になります。（遮光・下温・葉調整・水分調整・カルシウム施肥）

②カル元気1000倍（葉面散布） 灌水処理は3～5kgを定期的に行います。

